

令和6年度第4回富津市学校運営協議会（青堀小）会議録（要旨）

令和6年12月10日(火) 14時00分より
会議室(本校管理棟2階)にて

○ 出席者(敬称略)

安藤玲仁(P T A会長)、榎本 孝(代表区長)、平野 武(民生児童委員)、
平野恵子(主任児童委員)、松井小百合(学識経験者)、飛澤貴之(青少年相談員)、
木幡優子(図書ボランティア)、河野信成(本校校長)、佐藤紗都子(本校教諭)

以上9名

○ 概要

(1) 学校支援ボランティアを募るにあたって

- ・ 現在、読み聞かせのボランティアとして活動している。今後も活動を継続していきたい。地区社協の委員でもあるので、地区社協を通して環境ボランティア等の協力もお願いすることはできる。(平野恵)
- ・ 15年程前から登校時の見守り活動や夜間の防犯パトロール等を行っている。区の回覧を利用して、ボランティア活動(環境ボランティア等も含む)について地域住民に知ってもらいたいと考えている。(榎本)
- ・ 青堀地区社協、そして「大堀二区交通安全推進隊」のメンバーとして、地域の交通安全の推進に携わっている。他の区から参加の希望もあるが、今のところは二区の住民に限定している。(平野武)
- ・ 現在、「交通安全推進隊」は、二区と五区にしかないのもので、その他の地区の区長に立ち上げを呼びかけていきたい。(榎本)
- ・ 同居の祖父母や卒業生に回覧を通して声をかけるとか、市のラインを通してボランティアを募ることはできないか。他の地域では、「地域連携協働本部」なるものがあり、コーディネーターがパイプ役となって、学校支援ボランティアの活動等をコーディネートしていると聞いている。富津市でも、そのような組織があると良いのだが。(安藤)
- ・ 青少年相談員として、地域の行事等の防犯パトロール等を行っている。消防団にも所属していたことがあり、今でもつながりがあるので、奉仕作業等のボランティア活動に協力してもらえるように、OBとして現団員や他のOBに声をかけることはできる。(飛澤)
- ・ 7年ほど前から、図書ボランティアとして図書室前の通路や児童ホールの飾り付け等を行っている。現在一緒に活動しているのは3名ほどしかいないので、お子さんを通じて声をかけるなどして広めていきたい。家庭科のミシンの操作の仕方や掃除の時間に掃除の仕方を教えてくれるようなボランティアの方もいてくれると助かると思う。(木幡)

- ・「地域の人」の中には、保護者ももちろん含まれる。保護者があまり参加していない活動では、ボランティアとして参加してくれた地域の方からは不満が出てしまう。ボランティアを募る際は、その点の配慮（地固め）が大事。子どものお迎えに来る保護者が多いので、そのお迎えに来る時間を少し(30分程度)早めてもらい、下校までの時間でトイレ等を掃除してもらうといったボランティアをお願いするのはどうか。子どもの様子を見ることもできるというメリットも前面に出すと良い。参加してくれる方が限られてしまわないように、PRすることが大事。（松井）
- ・「ボランティアは仕事をしていない人がやればいい。」といった考えを持っている人も多い。仕事をしていようがいまいが、保護者であることは同じ。この辺の意識改革と同時に、子どもたちのためにやっている活動なのだという理解させることが必要。（平野恵）

（２）その他

○連絡

- ・第５回学校運営協議会について
期日：令和７年１月２５日（土） ※地域連携ふれあい協議会と兼ねる。
内容：・福祉標語の審査
・授業参観
・意見交換（学校、地域、家庭での児童の様子について 等）